



芽室町コミュニティ・スクール(CS)通信

～みんなで創り みんなでつなく ずっと輝くまち めむろ～



～かなえよう～

発行 めむろ郷育・夢育応援団事務局(芽室町教育委員会)

No.12

令和5年12月22日

～お知らせ～12月1日から「芽室町先手あいさつ運動」が始まりました

CS の取組の一環として、「めむろ郷育・夢育応援団本部」と町内7校の学校運営協議会が連携し、子どもたちをはじめ、誰もが「明るく爽やかな町」「住みやすい町」などと思える町にするため、地域の宝である子どもたちを中心として、毎月1日を「芽室町先手あいさつ運動の日」として設定しました。「先手あいさつ」とは、人からあいさつをされて返すのは、あいさつではなく、返事であるという思いが込められています。皆さんも是非ご協力ください。

めむろ未来学で農業体験学習が行われました(長いも体験：西中)



11月1日(水)に、めむろ未来学の一環として、西中学校の1年生が、岩井西中学校運営協議会会長の紹介により、上伏古の鳥本農場・中伏古の畠山農場で長いも掘り体験を行いました。学校支援ボランティアも3名参加し、生徒に声掛け、助言をしてくださいました。

生徒は、長いもについて、説明を聞いた後(等級、傷物、価値なし等)、畑の畝に置かれていた長いもの表面の土を落とし、コンテナに選別をしながら入れる作業を行いました。後半は、掘り起こされた土から長いもを引き抜く作業もさせてもらいました。

慣れない作業に苦戦していた生徒も、作業終わりには「楽しかった」「もっとやりたかった」と話していました。ボランティアさんも「初めてのボランティアだったが、良い体験となった。声をかけていただいて良かった」と話されており、受け入れ先の農家さんも「また機会があれば、引き受けますよ」と快く協力の申し入れをしてくださいました。

初のあいさつ運動に取り組みました(西中)



応援団本部会議の話し合いを受けた取り組みとなる芽室西中学校の学校運営協議会主催の「あいさつ運動」が、11月15日(水)と12月1日(金)の7時50分～8時10分に行われました。

今回の活動は、西中としては初めての試みで、協議会の話し合いの具現化と全町の「先手あいさつ運動」に呼応したものとなりました。出席者はPTAにも呼び掛け、1回目は6名(校長、教頭、岩井協議会会長、他2名)、2回目は9名(校長、教頭、協議会会長、PTA3役等)でした。

出席者からは、「学校のあいさつ運動が、挨拶の輪を全町に広げるきっかけとなれば良いと思う。やってよかった。」、岩井西中学校運営協議会会長は、「実施時間を生徒の登校時間に合わせて、もう少し後ろへずらした方が良いと思う。今後、西小とも連携して出来れば良いと思う。」などと話されていました。



本町では、平成3年から全町民挙げてあいさつを交わす、親切を広げる、美化を実行するという「3つの心運動」を推進しています。今回の「先手あいさつ運動」は、その具現化と全町に広がりを進めるものだと思います。

学校支援ボランティアは随時募集しています。詳しくは、生涯学習課社会教育係(62-9730)までお問い合わせください。